

岐阜県教育委員会 様

岐阜県立山県高等学校

学校長 伊藤 崇

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 岐阜県立山県高等学校運営協議会（第1回・書面開催）

2 回答期日 令和2年7月28日（金）

3 参加者 委員 荒深 幸夫 3期目  
餌取 敏 1期目  
九野 隆浩 2期目  
藤木 節子 2期目  
前田恵津子 4期目  
廣田 直子 (PTA会長)

学校側	伊藤 崇	校長
	伏見 圭太	教頭
	磯部 典之	事務長
	山田 智徳	教務主任
	中谷 長史	生徒指導主事
	山本 通広	進路指導主事

4 会議形式 書面開催

5 内容 (1)学校経営方針について  
(2)指導の重点について  
(3)地域連携について  
(4)運営方針について  
(本校の運営方針について委員の皆様より書面表決をいただく)

(1) 令和2年度岐阜県立山県高等学校教育方針、学校経営計画について

- ・校訓「自主・積極」を生徒が自覚し、実践・行動できるように先生方と保護者の支援を継続していきたいと思います。
- ・現在コロナ禍の影響で生徒も落ち着かない毎日を過ごしているのではと案じますが、何よりも先生方が疲弊されないように、お互いに声を掛け合って「報連相」を大事にと願っています。
- ・コロナ対策を行いながらの授業は、大変だと思います。一人一人が感染者にならないようによくお願いします。
- ・2年次生に関しては、選択したそれぞれの対応が新しい事ばかりなので、大変だと思いますが、よろしくお願いします。
- ・HPが更新されていない。
- ・メールの対応も間違いがあったりすると、見る方も適当に見てしまうので、内容等間違いがないか等、チェックしてから送信してほしいです。
- ・教育目標は、校訓の”心身ともに健康で社会貢献のできる心豊かな人材（地域社会人）の育成”にあるように山県高校の使命である「地域の将来を担う人材の育成」これに尽きると思います。これに基づき、各実践の取り組みをこれまで通りこれからも引き続きお願いします。

【学校側より】

4月からの長期にわたる臨時休業、6月からの分散登校を経て、ようやく6月中旬に通常授業を再開しました。学校休業中はオンライン授業のできるだけの対応をしましたが、初めてのことで生徒側にも教員側にも戸惑いはありました。現在もマスク着用、消毒や手洗いの徹底、登校時の健康チェック、放課後の消毒など通常とは異なる生活に苦労はあります。完全に以前の学校生活に戻ることは難しいかもしれませんが、気持ちを強く持って生徒、教員とも頑張っていきたいと思います。

学校HPの更新につきましては学校休業中はコロナ対策の連絡以外に掲載するネタがありませんので、当然更新は少なくなります。学校再開後は徐々に更新を増やしておりますので、ご覧ください。

メールの配信につきましてはミスのないように担当者に徹底しておきます。今後は一層細心の注意を払っていききたいと思います。

2年次生工業類型の企業実習（デュアル・システム）をようやく7月より開始しました。本校のセールスポイントとしていききたいと思います。「地域の将来を担う人材の育成」という目標に繋がっていききたいと思います。

(2) 各分掌長からの指導の重点について

○教務部について

- ・教室のICT化によって、先生方の授業研究の様子、生徒の学習取組みの変化はいかがでしょうか。
- ・コロナによる自宅での学びはどうでしたか。また、授業再開して、生徒の欠席なしでスタートしたでしょうか。
- ・「授業規律を尊重すること」は、時間を守る、授業を受ける態度等、基本的なことを身に付けるには良いことだと思います。

【学校側より】

教室のICT化により、先生方の板書がプロジェクターに変わり、板書に費やしていた時間が短縮された分、説明や机間指導が丁寧にできる様になりました。また、言葉だけでは伝えにくい部分を写真やインターネットの映像で大きく鮮明に示すことにより、生徒の興味関心を引き出すとともに生徒への指示が明確になったと思います。先生方の写真や図、グラフ、プリントなどの活用法が日々進化している。既習事項や前出の板書内容に容易に戻ることができるだけでなく、再度書く必要もないため、生徒理解に応じて間延びすることなく、授業を進めることのできるのが、ICTならではと感じております。整備された機器の稼働率は高く、積極的に活用される先生が昨年よりも増えました。図や映像等の活用により先生方が取り組みやすくなっているように思えます。

コロナによる臨時休校中のオンライン授業での参加率や提出物の内容などから、全体的に問題もなく、自宅での学習も意欲的に取り組んでいたという印象があります。授業再開後は、ほとんどの生徒が欠席なしでスタートすることができました。休校期間が長く、生徒が集中して授業に参加できるか心配でしたが、分散登校期間もあり、通常授業に戻った後もしっかりと授業を受けている姿が見受けられました。

- ・授業規律を尊重することは、本校生徒にとって、社会人になる前に身に付けなければならない力

の一つであると考えます。この部分に焦点を絞り、学校全体で取り組めたことは良かったと思います。

### ○生徒指導部について

・今年度から遅刻指導を重点化とありました。時間を守ることの重要性を生徒にどう意識づけて徹底することができるか、具体的な取組みに期待したいと思います。

・「基本的生活習慣の確立」については、特に社会に出て通用する人間であるかを判断される部分かと思います。今更ながら高校生で時間のけじめ、公私のけじめ、善悪のけじめを指導しなければならない事は、いかに家庭での躾や子育てを含め、今までに構築されていないかという事を浮き彫りにしています。社会人になる前の最後の砦となるべく山県高校での指導が社会貢献できる人材の育成に繋がることを期待致します。学校ですべて社会（地域）に出ると実行できない、マナーやモラルの欠如、集団になると出来てしまう（犯罪）、個々の甘さなど、まだ間に合う教育現場で先生方のご苦勞を重々承知の上よろしくお願い致します。

#### 【学校側より】

遅刻指導に限らず、生徒の指導に当たっては、まず担任による指導、次に学年主任、次に生徒指導部長・・・と順を追いながら、本人の理解が深まるよう粘り強く啓蒙することを基本的理念とします。遅刻についても、なぜ時間に合わせて行動しなければならないのか、その意味と意義、実践することの大切さを粘り強く伝えるところから始めます。遅刻の回数が多くなった生徒については、その回数に応じて担任から校長まで、段階に応じて指導していきます。

基本的生活習慣は、まさに毎日の生活習慣であり、その生徒のこれまでの積み重ねの結果です。高校へ入学するまでの15年の歳月で得た悪しき習慣を良き習慣に変えるためには、その根本的な考え方を伝えるだけでなく、我々も粘り強く、気長に根気よく、愛情を持って生徒と付き合う必要があります。

マナーやモラルのない子どもが将来罪を犯すかどうかは、その子どもが誰かから愛情を持って接してもらったという経験（実感）こそが、最後の最後、ギリギリの場面でのブレーキ役となりうる要素なのではないかと信じています。親の愛情を知らず、大人を信じられず、群れる場としての友達しか知らない子どもに、赤の他人である教師がどれほどの愛情を実感させられるかわかりませんが、社会に出る前の短い3年間、あきらめずに生徒達と向き合いたいと考えます。

### ○進路指導部について

・「生徒の将来の歩む道、希望が叶う学校」目指して進路指導部のみでなく、全職員の共通理解と協力体制のもとで、是非、生徒の自立を指導・支援していただきたいと思えます。

・類型ごとの学習がスタートし、子供たちの進路を導くのに生徒と先生との対話が大切になってくると思えます。

・企業実習（デュアル・システム）のスタートは予定通りに進んだのでしょうか。

・工業類型の企業実習に関しては、企業の方々の協力なしでは行えない。そこを生徒たちにも理解させ、勉強の場を与えてもらっているという気持ちをもって行動して欲しいものです。

#### 【学校側より】

いつも本校生徒に対して多大な関心を寄せていただきありがとうございます。3年生も進路に関して事の重大さが把握できている生徒が例年以上に多く、よく進路指導室に足を運び疑問に思う点など相談にくる姿を見ます。保護者懇談が始まり求人票を閲覧にくる姿を例年以上にみかけるのが印象的で、進路の担当者も席をはずせない状況となっております。新型コロナの影響にも関わらず、求人を多くの企業からいただきありがたい状況となっております。なんとか全員が進路を実現できるように願っています。進路行事も現在のところ大半がキャンセルという状態であり、生徒には残念な思いをさせています。早い終息を願いたいものです。

類型学習がスタートし、それぞれの類型に対する心構えや姿勢などを担任や担当教員が折を見ては話しをしてくれています。

企業実習については、「研修させていただく」という謙虚な気持ちで臨むよう常々話しています。特に担任は、毎日のSHRや保護者懇談などで、生徒に工業類型生徒としてどのような姿勢で臨むべきか、また、他のクラスとは異なり、貴重な経験をさせてもらっているなどと話をしています。

今後とも本校の進路指導にさまざまな面からご理解ご協力をいただき生徒の進路実現に向けて尽力していきたいと考えています。

### その他

#### （部活動の充実について）

・今年度の入学生79人を受け、これからの生徒数の減少は市内中学校も同じ懸念をすところ。 「やりたくてもやれない、部活動はできてもチームが組めない、大会に出られない」などの問題が既に出てきていますが、10年後には市内の中学生が学年150人を下回る時代がきます。先を見据えた考え方でこれからの部活動の在り方を検討していくべきかと思えます。

【学校側より】

昨年度から本校の現状を考慮し、部活動の精選を行っています。部活動が低迷している本校としましては、一人でも多くの生徒に部活動に取り組み、学校を活性化するとともに地域に明るい話題を提供していきたいと思っております。

(3) 地域連携について

- ・継続できること、すべきことは、是非、地域になくてはならない学校として、充実させて欲しいです。
- ・課題や困難な事案については、スクラップアンドビルドも必要かと思えます。
- ・地域連携を通して、生徒一人一役を担うことができると良いと思えます。特定の生徒が大活躍するのでなく、責任を果たすことの重要性の学びの場（機会）となると意義（価値）があると考えます。
- ・地域の行事に参加したことを他の人たちに知ってもらうために、PR版（大型新聞）みたいなものを作って貼らせてもらうと良いのではないかと。
- ・今まで通り、山県高校と美山中学校など一緒に行う事をするので地元に着いていくので、是非、続けてほしい。
- ・岐阜市内の学校と違って、地区北部の学校としては、特に地域との連携は大切だと思います。
- ・幼小中高大の繋がりにおいて、幼の部分（公立（山県市）の美山保育園での実習を実施されていますが、夏休みなどを利用して各地域の保育園や私立の幼稚園などとの交流も今後は検討されてはどうですか。

【学校側より】

山県市唯一の高校として、地域と積極的に関わることにより、地域課題を踏まえた活力ある学校を目指しております。

昨年度入学生から単位制普通科となり、5類型の学習が進む中、企業実習（デュアル・システム）、インターンシップ、地域ボランティアなどの地域連携事業も良き伝統を残しながら、新しい形へと改善されていくと思えます。

現在、地域ボランティアにおいては、生徒会や特定の部活動の活躍が目立ちますが、来年度からの2・3年次生が揃った各類型の特色ある活動などが実施されることで、多くの生徒が関わることになると思えます。

一昨年は、単位制普通科についての中学生や保護者の認知度は低かったですが、少しずつ認知されるようになってきました。特に工業類型や福祉類型を意識し、進路選択を考える地元中学生が出てきたと聞いています。地域の8中学校に広報ボードを設置（7月、11月に張り替え）していますが、今後は、地域のバス停や公民館等への設置を検討していきたいと思えます。

夏休みを利用した保育園や私立幼稚園などとの交流については、現状では新型コロナウイルスの関係で難しいと思えますが、来年度に向けての検討課題とさせていただきます。

(4) 運営方針について（書面表決）

本校の運営方針について、書面によるご説明より6名の委員の皆様にご意見を伺いました。

承認 6  
承認しない 0